

平成 28 年度
事業報告書

公益財団法人 水産無脊椎動物研究所

平成 28 年度 事業 報告

I. 事業の状況

平成 28 年度の事業は、前年度と同じように、事業計画に従って「助ける」「集める」「広める」事業を行った。

1. 「助ける」研究助成事業

2016 年度の研究助成課題の応募数は、個別研究助成 54 課題、育成研究助成 21 課題、合計 75 課題と過去最多の応募数となった。採択数は個別研究助成 8 課題、育成研究助成 3 課題を採択した。

4 月初旬、これらについて助成金を交付した。[資料-1](#)

これによりこれまでに助成した課題数は 184 課題、助成金額の累計は 195,879,000 円となった。

2. 「集める」研究情報・資料・論文の収集、図書との交換、学会の聴講等

軟体動物後鰓類(ウミウシ)に関する研究情報の収集は、今年度は総種数で 4,470 種(+48 種)、プリント数で 18,818 頁(+188 頁)となった。研究情報を収集するため、日本貝類学会、日本動物分類学会等の講演要旨集を入手し、新しい研究情報のいくつかを「うみうし通信」に掲載した。

3. 「広める」研究情報や海の無脊椎動物の知識を普及啓発すること

1. 「うみうし通信」

当財団の広報誌であり、博物館・研究所等との交換図書ともなっている。今年度は No. 91~No. 94 まで 4 号を発行した。

印刷部数は 1,600 部、配布部数は 1,300 部、有料配布は「うみうしくらぶ」会員。無料配布は、国会図書館、水産庁、水産研究所、水族館、大学、及び財団関係者である。

2. 「うみうしくらぶ」

会員数は 301。個人会員は前年度より 9 名減少し 290 名、法人会員は 2 社減少して 11 社となった。

会費収入は 494,000 円、その他の収入と前期繰越金の合計により、収入合計は 710,751 円となり、これを財団の受取会費として計上した。支出は、「うみうし通信」の総発行費用が 4,343,898 円、1 部単価 679 円となり、会員の費用は 877,268 円となった。また見学会・勉強会の費用合計は 227,820 円であり、その結果、財団のうみうしくらぶ負担分は 561,798 円で、前年度より 132,718 円増加した。

3. 見学会

第10回「親子で楽しむ海の生き物わくわくウォッチング」を、例年と同じ観音崎自然博物館で5月5日に開催した。大人58人子供43人合計101人が参加。博物館の河野えり子館長のリードと学芸員とボランティアのサポートで実施した。午前中は磯へ出て海の生き物ウォッチング、午後からは、海藻についての講義と生物スケッチをおこなった。（子供たちのスケッチは次号の「うみうし通信」に掲載した。）その後「海藻おしば」の標本を作り、そして小さなビンに入れたウミホタルの乾燥標本をお土産に、見学会は無事終了した。

4. 勉強会（岩手県大槌町）

7月14日～16日に、「うみうしくらぶ」の会員を対象とした第22回「磯の生物勉強会」を三陸海岸大槌町の東京大学大気海洋研究所国際沿岸海洋研究センターにて開催した。14名が参加。広瀬雅人生物資源再生分野特任助教にお世話いただいた。

一日目は広瀬助教の「コケムシを通して大槌湾の震災の影響を探る」というレポートを中心にした講義。発信機装着のアカウミガメの放流を見学。津波被害を受けた当該センターの見学。

二日目は磯の生物採取及び講義。ROV（水中ロボット）を使った深海生物採取の映像をみて大槌町内の震災跡を見学した。

三日目は当海洋研究センターで開かれた一般公開イベントに参加し、ROVの操縦等の実体験。北川貴士氏の「岩手に戻ってくるサケの話」、田中潔氏の「三陸の海水はどのように流れていますか」の講演。

二日目の夜は参加者、講師、事務局を交えて懇親会を実施した。今回は東日本大震災の復興状況の視察も兼ね、学ぶことが多かった。

II. 財団の運営

本年度は、当財団の事業趣旨に賛同をいただいた2名の方から株式の寄付を頂戴し、基本財産の充実を図ることができた。これにより研究助成事業をさらに質量とも充実させていく方針である。寄附金額は224,500,000円（寄附受け容れ理事会開催日時価）。

1. 理事会

第1回理事会 平成28年5月17日

開催場所 銀座ブロッサム中央会館

決議事項 平成27年度事業報告及び収支決算について

報告事項 代表理事の職務執行の状況報告

その他の報告事項

出席等 決議に必要な出席理事の数5名、出席5名

監事出席 2 名

第 2 回理事会 平成 28 年 6 月 6 日
開催場所 銀座ブロッサム中央会館
決議事項 代表理事の選任について
評議員会の開催について
出席等 決議に必要な出席理事の数 5 名、出席 6 名、監事出席 1 名

第 3 回理事会 平成 28 年 8 月 3 日
開催場所 帝国ホテルタワー館 ラ ブラスリー
決議事項 寄附の受入について
出席等 決議に必要な出席理事の数 5 名、出席 7 名、監事出席 2 名

第 4 回理事会 平成 29 年 3 月 15 日
開催場所 銀座ブロッサム中央会館
決議事項 基本財産の処分又は除外について
平成 29 年度事業計画及び収支予算について
2017 年度研究助成課題について
専門委員の委嘱について
定時評議員会の開催について
報告事項 代表理事の職務執行の状況報告
その他の報告事項
出席等 決議に必要な出席理事の数 5 名、出席 8 名、監事出席 1 名

2. 評議員会

定時評議員会 平成 28 年 6 月 6 日
開催場所 銀座ブロッサム中央会館
決議事項 平成 27 年度事業報告及び収支決算の承認について
理事の選任について
出席等 決議に必要な出席評議員の数 5 名、出席 9 名

第 2 回評議員会 平成 29 年 3 月 15 日
開催場所 銀座ブロッサム中央会館
決議事項 基本財産の処分又は除外の承認について
平成 29 年度事業計画及び収支予算の承認について
出席等 決議に必要な出席評議員の数 5 名、出席 8 名

3. 専門委員会

第 1 回専門委員会 平成 28 年 8 月 17 日
開催場所 銀座瀬里菜
議 題 2017 年度助成課題募集要項の決定と、2014-15 育成研究助

成及び 2015 個別研究助成の報告書の評価

第 2 回専門委員会 平成 29 年 2 月 23 日

開催場所 中央区明石町区民館

議 題 2017 年度応募課題（個別 49・育成 19）を審査し、理事会
に推薦すべき個別研究 9 課題、育成研究 4 課題を決定

4. 事務的事項

1. 役員人事

理事 9 名の任期満了にともない 6 月 6 日、定時評議員会において、理事 9 名の重任が議決された。

引き続き開催された理事会において矢島邦茂氏の代表理事重任が議決された。

2. 登記

平成 28 年 6 月 13 日、理事 9 名及び代表理事 1 名の登記を行った。

3. 内閣府への提出と届出

平成 28 年 6 月 23 日、平成 27 年度の「事業報告等の提出」を電子申請によって行った。

平成 29 年 3 月 21 日、平成 29 年度「事業計画等の提出」を電子申請によって行った。

4. 公告（情報公開）

HP上の「平成 27 年度事業報告書」と「平成 28 年度事業計画及び収支予算」を更新し、2016 年度研究助成の採択課題を公表した。

5. 「広める」告知など

平成 28 年 5 月に財団のホームページのリニューアルを実施してより分かりやすいサイトにした。また「うみうし通信」の紹介サイトやイベントの告知及び「質問コーナー」への回答を載せた。その他テレビ番組の制作会社からの質問にも応じた。

2016年度支払助成金

個別研究助成 (1年間の助成)

申請者氏名 / 共同研究者	所属機関 / 職名	研究課題	助成金額(円)
栗田 喜久	東北大学大学院農学研究科附属女川フィールドセンター 助教	腹足類幼生が形成するフタの防御機能の実証	583,000
椎野 勇太	新潟大学教育研究院自然科学系 助教	沖縄県瀬底島近海における放散虫の形態と行動生態	700,000
小玉 将史	東京大学大気海洋研究所生物資源再生分野 修士課程1年	藻場生態系におけるヨコエビ類の動態と機能の解明	700,000
外山 美奈 共同研究者 山濱 由美	浜松医科大学 技術専門職員 浜松医科大学 教務員	水産甲殻類端脚目の視覚機能の多様な進化および環境適応の解明	700,000
松村 清隆 共同研究者 加戸 隆介	北里大学海洋生命科学部 非常勤講師 北里大学海洋生命科学部 教授	フジツボの着生における幼生視覚の役割	700,000
小泉 逸郎 共同研究者 大高 明史	北海道大学地球環境科学研究院 准教授 弘前大学教育学部 教授	日本産ヒルミミズ類の複雑な進化史: 宿主ニホンザリガネとの比較生物地理学から	700,000
関井 清乃	弘前大学農学生命科学部 ポスドク研究員	プラナリアの適応度最大化戦略: 子の生殖様式の調節メカニズム解明にむけて	668,000
川井田 俊 共同研究者 佐野 光彦	東京大学大学院農学生命科学研究科システム学専攻 博士課程1年 東京大学大学院農学生命科学研究科 教授	消えるマングローブ落葉の行方: カニ類による落葉分解プロセスの解明	700,000

育成研究助成 (1年目の助成)

氏名 / 推薦者	所属機関 / 専攻	研究課題	助成金額(円)
自原 直人 推薦者 柁原 宏	北海道大学大学院理学研究院 自然科学専攻 北海道大学大学院理学研究院 准教授	サンゴ穿孔性ハボウキゴカイは外来種となり得るか?: アクアリウムを通じた多毛類の移入の現状把握と検証	初年度 1,000,000
新井 未来仁 推薦者 藤田 敏彦	東京大学大学院理学系研究科 生物学専攻 国立科学博物館動物研究部 海生無脊椎動物研究G長	ホウキボシ科(棘皮動物門: ヒトデ綱)の系統分類学的研究	初年度 1,000,000
奥 裕太郎 推薦者 深見 裕伸	宮崎大学大学院農学研究科 海洋生物環境科学コース 宮崎大学農学部海洋生物環境学科 准教授	沖縄周辺に生息する日本産カサビライシ科の種多様性の調査と分類体系の再検討	初年度 1,000,000

育成研究助成 (2年目の助成)

氏名 / 推薦者	所属機関 / 専攻	研究課題	助成金額(円)
大塚 玄航 推薦者 西野敦雄	弘前大学大学院農学生命科学研究科 基礎生命科学専攻 弘前が医学大学院農学生命科学研究科 准教授	オタマヤ類の分類体系に関する形態学的・分子学的検討	2年度 1,000,000
田中正教 推薦者 西川輝昭	東邦大学大学院理学研究科 生物学専攻 名古屋大学 名誉教授	日本産ボネリムシ科の系統分類学的研究	2年度 1,000,000
河村伊織 推薦者 ジェームズ デイビス ライマー	琉球大学大学院理工学研究科 海洋環境学専攻 琉球大学理学部海洋自然科学科 准教授	沖縄島におけるマメスナギンチャク属4種の繁殖生態学的研究	2年度 1,000,000